

鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたるの取り組み

一般社団法人 鶴岡地区医師会
地域医療連携室「ほたる」



ほたるの周知・啓発活動

医療・介護従事者だけでなく、**地域住民**にも周知・啓発活動を強化！

住民向けリーフレットの作成



◆リーフレットを地域住民向けに作成。

4000部発行しました！



「市民健康のつどい」に参加

- ◆多くの地域住民が参加する鶴岡市主催の大規模イベント。
- ◆ブースを設けてもらい在宅医療に関する展示をした。
- ◆204人のブース訪問とアンケートへの記載を頂いた。



ニュースレター「ほたる便り」の定期発行



地域で行われる各種イベントに参加しPR

- ◆庄内プロジェクト市民公開講座
- ◆庄内地域医療連携の会市民公開講座
- ◆鶴岡市主催福祉体育祭

在宅医療や「ほたる」の普及啓発だけではなく、地域住民からの声を直接聞ける良い機会でした！



メディアの積極的活用等も含め、周知・啓発活動を継続する！

ほたる多職種研修会の開催ほか

【ほたる多職種研修会・意見交換会】参加者合計：478名

	開催日	会の名称	参加者数
1	7月18日	第1回ほたる多職種研修会（脳卒中）	137名
2	8月22日	第2回ほたる多職種研修会（糖尿病）	105名
3	10月3日	第3回ほたる多職種研修会（リハビリ）	151名
4	2月15日	第4回ほたる多職種研修会（エンゼルケア）	45名
5	3月11日	「在宅医療連携拠点事業」に係る意見交換会	40名



【その他の主催・共催・後援した研修会】参加者合計：820名

	開催日	会の名称	参加者数	形態
1	4月24日	訪問歯科診療相談窓口設置に係る運用説明会	99名	主催
2	5月21日	第1回南庄内在宅医療を考える会	29名	共催
3	8月2日	第1回医療と介護の連携研修会	181名	共催
4	9月14日	とようら居宅介護支援センターへの出張勉強会	7名	主催
5	10月15日	第2回南庄内在宅医療を考える会	26名	共催
6	11月22日	第2回医療と介護の連携研修会	137名	共催
7	12月9日	在宅歯科医療と口腔ケアについての多職種連携研修会	123名	後援
8	12月14日	鶴岡協立病院 高齢者・認知症ケア推進委員会 発足記念講演会	140名	共催
9	2月14日	医科歯科連携を考える会	77名	共催

地域のニーズを把握！
今必要とされている
テーマの研修会を
開催します！



地域のニーズに応えた研修会を開催するとともに、既存の会に対する共催や後援による運営支援を行い、地域のイベントコーディネーター役を目指す！

居宅介護支援事業所等での出張勉強会

きっかけ…
ケアマネからほたるへの電話相談。



(参加者) 7名
居宅介護支援事業所・地域包括支援センター職員
(講師) 2名
ほたる

開催前に…聞きたいこと・学びたいことを事前に知るべく、事業所にアンケート調査を実施。

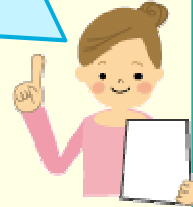
アンケート内容をもとに、福祉は行政担当部署、在宅医療は訪問看護師から情報を収集して開催準備。

ほたるのスタッフ（看護師・相談員）が事業所へ出向き、勉強会を開催。



【参加者の感想】

- ◆基礎資格が介護職のケアマネジャーは、医療の知識に不安が多く、「**医療サービスにうまく繋がられない**」という課題（ジレンマ）を抱えながら業務についている。
- ◆ケアマネジャーを対象にした研修会は多数行われているが、「**大きい規模ではなかなか聞けないこと**」を聞ける場としての小規模な勉強会を開催欲しいという希望をかなえてくれるところがあることはとても心強い。



- ◆ケアマネジャーの医療に関する知識の底上げのためのひとつの手段として、出張勉強会にはニーズがあることがわかった。
- ◆ほたるによる出張勉強会の開催について、地域全体に周知していく。

周囲の目を気にすることなく聞きたいことが聞け、共有できる。講師との今後の繋がりもできる。継続事業として力を入れていく！

口腔ケア提供体制の構築

【課題】 医科やケアマネジャーから歯科に繋がらない。繋ぐ窓口がない。

訪問歯科診療相談窓口の設置

ほたるが窓口となり、医科、ケアマネジャーから歯科への繋ぎ役となり、スムーズな口腔ケアの利用が始まるようコーディネートする。

この在宅患者には口腔ケアが必要。ほたるに連絡！

訪問歯科診療の申し込みを代行します。

医科やケアマネジャーから、訪問歯科診療の申し込みが増えてきた！



【訪問歯科診療申込件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	3	0	0	1	1	1	1	1	2	6	17件

回復期リハビリテーション病院への歯科介入

回復期リハビリテーション病院の入院患者への歯科の介入を、歯科医師会と協力してほたるが企画。

- ◆ 歯科医師会が作成したチェックシートにてアセスメントを実施。歯科治療実施に繋げる。
- ◆ 拠点と同じく医師会が運営する回復期病院なのでスムーズな介入が可能となった。
- ◆ 対象とする入院患者は脳卒中地域連携パス患者に限定して実施した。
- ◆ スクリーニングは看護師が実施した。

【介入状況】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中地域連携パス入院患者数	12	7	12	17	11	18	77人
歯科治療実施者数	1	4	2	2	1	3	13人

車椅子でも通院できる歯科医院の情報提供もしているよ。

口腔ケアに対する理解が進んでいないことが活用が進まない理由。来年は周知を強化しなくちゃ。

口腔ケアに対する認知度はまだまだ低い。

今年度は「**医科**」や「**地域住民**」に向けた**普及啓発活動を更に強化する！**

ホームページによる情報発信

在宅医療地域資源マップ

検索 クリア

施設名

住所

地域

在宅医療

施設区分

医療系サービス

病院・診療所

内科

呼吸器内科

循環器内科

地域内の在宅医療資源を地域や施設の機能で検索することができ、地図へのマッピングや、在宅医療に関する情報を閲覧できる。

学習会集約カレンダー

2012年10月

日 月 火 水 木 金 土

10月10日(水曜日) 19時00分 (GMT+09:00)

10月10日(水曜日) 20時30分 (GMT+09:00)

会場: 山梨リハビリテーション病院 診療部副部長 今橋 圭子 先生

講師: 山梨リハビリテーション病院 診療部副部長 今橋 圭子 先生

講師: 介護老人保健施設みずしよ 介護学部長 佐藤 昭彦 先生

講師: 山梨リハビリテーション病院 理学療法士 丸山 裕也 先生

主催するイベントだけでなく、地域で行われる医療介護関連の学習会、研修会等を集約したカレンダーです。

ショートステイ空き情報

表の説明: ● 十分に利用できる (3名以上) ▲ 多少の空きがある (1~2名) × 短期入所サービスの空きなし

サービス事業所名	電話番号	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12
地幸園 (多床室) NEW	25-2881	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
地幸園 (個室) NEW	25-2881	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
永寿荘 NEW	25-6111	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
おおやま	38-0250	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
しおん荘 NEW	76-3735	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
湯寿荘	43-2351	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ふじの花荘 NEW	64-5880	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かみじ荘 (多床室) NEW	62-2233	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かみじ荘 (ユニット) NEW	62-2233	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
桃寿荘 NEW	57-3222	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かたくり荘	53-2300	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ふなの杜 NEW	58-1535	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
なの花荘 (個室) NEW	66-4831	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
なの花荘 (二人室) NEW	66-4831	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
のぞみの園 NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
サテライト老健のぞみ NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
サテライト老健ちわら NEW	25-8255	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
かひはし (療養介護) NEW	25-1131	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ショートステイかひはし (生活介護) NEW	25-1131	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

地域のショートステイの空き情報が確認できます。ほたるが責任を持って毎週情報を更新しますので、情報の鮮度が保たれています。

活動報告

第3回 ほたる多職種研修会

10/12 開催しました!

日時: 平成24年10月3日(水) 19:00~20:30 (17:30受付開始)

会場: 新岡市総合保健福祉センター 3階 大会議室

対象: 周辺地区の医療従事者、保健師、介護士、ケアマネジャー、他 関係のある方

参加費: 無料

主催: 新岡地区医師会 在宅医療連携推進委員会

参加者: 151名 (アンケート協力者: 130名/出席率: 86.1%)

メインテーマ「リハビリについて」

- 「回復期リハビリの役割と退院移行期のリハビリ」
講師: 山梨リハビリテーション病院 診療部副部長 今橋 圭子 先生
- 「老健のリハビリの視点から」
講師: 介護老人保健施設みずしよ 介護学部長 佐藤 昭彦 先生
- 「訪問リハビリの視点から」
講師: 訪問看護ステーションリコーナース 理学療法士 丸山 裕也 先生

アンケート結果: 全てのアンケート結果を見るには QRコードをクリックしてください

参加者所属: 山梨県医師会 (100%)

参加者職種: 医師 (17%)、看護師 (27%)、理学療法士 (21%)、介護士 (25%)、ケアマネジャー (10%)、その他 (12%)

主催する多職種研修会や、共催イベント等についての開催情報、開催内容、写真、アンケート結果を、網羅的にまとめた活動報告です。

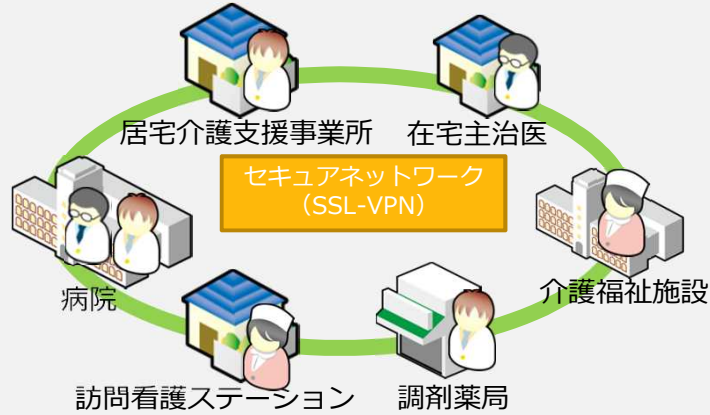
その他の情報発信

ほたるの基本情報、事業の説明、相談窓口の案内、スタッフ紹介、報道・メディア紹介等の情報を発信しています。

「医療・介護従事者」や「地域住民」に活用される情報発信ステーションとして、情報の質と量を高めていく!

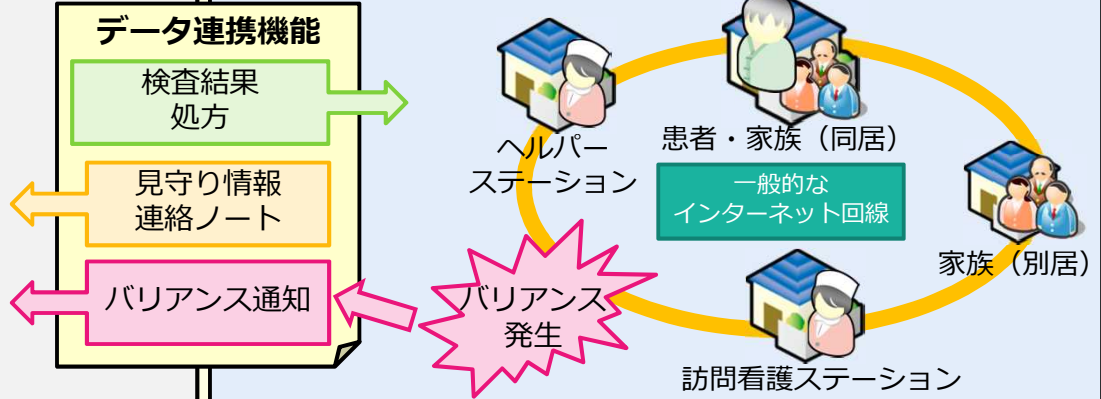
患者情報共有ツールの活用と展開

Net4U ～当地区で10年以上利用されてるITツール～ 医療・介護従事者のための患者情報共有ツール



地域で利用されている患者情報共有ツール。診療情報の共有・コミュニケーションとして利用されている。Note4Uの導入により在宅高齢者の見守り情報が確認でき、患者の状態に注意すべき変化があれば、メールで通知される。

Note4U ～ほたるが主体となりシステム構築～ 介護者参加型在宅高齢者見守りWEB連絡ノート



家族やヘルパーが登録する見守り情報により、Net4Uを利用する主治医やケアマネージャーが、日々の在宅での状態を把握できるようになる。WEB型連絡ノートとしても利用できるほか、Net4Uで登録された処方箋や検査結果の閲覧も可能となる。

患者情報共有ツールに機能拡張。家族やヘルパーが参加できる「在宅高齢者見守り機能」によって、在宅高齢者の急変、重症化の予防を実現！

訪問看護・訪問服薬指導に関する課題の抽出

【課題】 訪問看護師のマンパワー不足

地域的要因として訪問看護師が慢性的に不足している。地域全体で考えた問題解決策を検討する。

◆ 1回目アンケート

訪問看護師の本来的業務・役割の見直しを行い、訪問看護師の負担を軽減する対策を講じる。

◆ 2回目アンケート

1回目アンケート結果から課題となった項目の、業務内容を調査する。

◆ 課題と対策

- ①訪問時の薬剤管理作業（薬剤師との連携不足）
- ②看護記録等の事務作業

組織横断的な医薬連携をより推進するため、
ほたる、訪問看護師、薬剤師会とのミーティングを開催

【課題】 訪問服薬指導を実施する 薬局の不足と医師の理解不足

◆ 薬剤師会によるアンケート

年度	総数	対応可能	応相談	不可	無回答
H23年度	55	11 (20%)	22 (41.9%)	21 (38.1%)	0 (0%)
H24年度	56	10 (17%)	24 (42.8%)	16 (28.5%)	6 (10.7%)

◆ 課題と対策

- ①訪問服薬指導の実施状況に昨年度との大きな変化はない。
- ②本年度のアンケートには、ほたるから依頼し、在宅医療に関する項目を追加して調査を実施。
 - ・訪問可能時間や訪問範囲
 - ・時間外対応
 - ・退院カンファレンスへの参加体制の有無

訪問看護師の負担の軽減や、訪問服薬指導の利用を促進するための検討の場を企画し、具体的な業務連携・問題解決に繋げる！

総合相談窓口

相談件数

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	7	2	6	6	7	9	7	3	9	9	4	5	74
(うち地域住民)	1		1		2		1			3	2	0	10
平成23年度					2	1	1	2	3	8	3	9	29

相談元施設

施設区分	件数
居宅介護支援事業所	32
医療機関	21
地域住民	10
地域包括支援センター	3
訪問看護ステーション	2
グループホーム	2
障がい者支援センター	1
小規模多機能施設	1

主な相談内容

内容	件数
地域資源の情報提供	19
相談支援	13
医療依存度の高い方の入所先	12
往診医について	12
入所施設について	8
訪問歯科について	8

相談件数は昨年度の約2倍以上になりました。

相談内容データベースを作成。相談業務の品質を高めるとともに、地域の課題抽出等にも役立てることが期待できる。



地域にはさまざまな相談窓口や資源がある。その機能等を把握し、相談内容に応じて人と人、点と点を繋げていく。